

2017年 4月28日 (金)

# みらいとびら 未来への扉



高等特別支援学校 支援部 第95号

\*インフォメーション号\*

## 1 療育手帳

療育手帳は、就労をはじめ様々な福祉サービスを受けやすくするために、知的障害のある方に（神戸市を除く兵庫県では発達障害のある方にも）発行されています。療育手帳には、次回判定年月が記載されていますが、県や市町村から更新のお知らせは基本的にありません。判定年月が近づきましたら、それぞれ地域の福祉事務所か町役場の方にご相談の上、更新判定の申し込みをしてください。

特に3年生の場合、更新判定の場所は、満17歳までは地域のこども家庭センターで、満18歳を過ぎると下の相談所で判定を受けることとなります（誕生日が近い場合は、どちらになるかわかりません）。

※神戸市以外の方

・県立知的障害者更生相談所（最寄り駅：阪急「王子公園」）

神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター3F

TEL (078) 242-0737



※神戸市の方（H29. 3. 19に移転しました）

・神戸市障害者更生相談所（最寄り駅：「高速神戸」）

神戸市中央区橋通3-4-1 総合障害福祉センター3階

TEL (078) 361-2340

（区の保健福祉部あんしんすこやか係を通して受け付け）

療育手帳は、知的障害の方のための手帳ですが、法律で定められた制度ではなく、都道府県独自の発行であるために名称も等級も様々です。

また、知的障害を伴わない発達障害の方については、兵庫県（神戸市を除く）では療育手帳が発行されていますが、他の自治体では、「精神障害者保健福祉手帳」の対象となる場合がほとんどのようです。いずれにしても、現在は発達障害に特化した手帳は発行されていません。自治体によって制度や対応が異なりますので、転出等の際にはご注意ください。

## 2 学校以外の相談・支援機関など

### <知的障害・発達障害に関する相談・支援機関>

各市町の役所・役場の「障害福祉課」が窓口になっているようです。支援機関・支援センターは各市町によって異なりますが、多くの場合、知的障害・発達障害に限定しない幅広い相談・支援事業の一環として、活動が行われています。

### <発達障害専門の相談・支援機関>

ひょうご発達障害者支援センター「クローバー」があります。クローバーは現在県内に6カ所(高砂、芦屋、加西、豊岡、宝塚、上郡)設置されています。HP(ホームページ)があります。相談は予約制で、日数がかかることが予想されます。

神戸市では、神戸市発達障害者支援センターを中心に相談を行っています。

### <親の会>

兵庫県、神戸市それぞれの「手をつなぐ育成会」、「兵庫県LD親の会『たつの子』(LD・ADHD・高機能自閉症など)」、「NPO法人『ピュアコスモ』(高機能自閉症、アスペルガー症候群など)」があります。それぞれHPがあります。

### <発達障害に関する情報>

厚生労働省が国立障害者リハビリテーションセンター(所沢)で、文部科学省では国立特別支援教育総合研究所(久里浜)にてHPで情報を提供しています。

## 3 トピックス……………そのうちUSJの遠足で会えるかも知れません◎

**天声人語**

その女の子は4歳、名前はジュリア。髪はオレンジ色でウサギのぬいぐるみが好き、そして自閉症である。子どもたちに人気の米国の番組「セサミストリート」の新しいマペット(操り人形)だ。黄色いビッグバードや真っ赤なエルモたちに仲間入りする▼番組のサイトではエルモがジュリアのことを友だちに説明している。「ほかの人とちょっとやり方が違うんだよ」。呼びかけても答えないことがあるけど、それは君を嫌いだからじゃない。雑音を怖がるのは耳がとても良いからだ▼ジュリアの人形を操るステイシー・ゴードンさんは自閉症の息子の母である。もし息子の友だちがこの番組を見ることができたら「息子が叫んでも心配しなかつたらうし、違う遊び方をしても、それでいいんだと思ってくれたかもしれない」と米メディアに語っている▼米国では68人に1人の割合で自閉症児がいる。そんな子を持つ家族からの要望が何年も前からあり、受け止めた。一人ひとりの違いを認める社会であってほしいとの作り手の思いが伝わってくる▼「僕は、いつも同じことを聞いてしまいます」。東田直樹さんが著書『自閉症の僕が跳びはねる理由』で述べている。聞いたことをすぐ忘れるからだけではない。同じ言葉なら苦手な会話もしやすい。「それが言葉のキャッチボールみたいで、とても愉快なのです」▼違いを言い募るのではなく違いを理解する。壁をつくるのではなく向き合う。願わくは、そんな心の構えでありたい。

2017・4・11